

美馬市木屋平

県のヘリポート完成

災害時や病人搬送に活用

美馬市木屋平川上の穴吹川河川敷に県が整備し、13日、記念式典と百

衛隊ヘリの離着陸訓練が行われた。災害時や病人搬送時の離着陸場所として活用する。



完成したヘリポートで行われた自衛隊ヘリの見学会

ヘリポートは、国道438号沿いの378平方㍍に造り、コンクリートで舗装した離着陸スペースや風向表示器を備えている。山腹崩壊などで国道が不通になった際、救援物資搬送や救助活動などに役立てる。総事業費は1500万円。

この日、飯泉嘉門知事や牧田久市長ら6人が完成を祝つてテープカット。訓練では陸上自衛隊第14飛行隊（松茂町）のヘリ機が離着陸し、ヘリの見学会もあった。

木屋平地域自主防災連絡会の阿部義則会長（66）は台風などによる土砂災害が多く、住民は完成を待ち望んでいた。急病人の搬送など緊時に役立つたらいい」と話した。

（畠中佳輝）

N
O
E

ドイツ村 市民と交流深める

ドイツ村公園など訪問

鳴門市の姉妹都市、ドイツ・リューネブルク市の親善使節団が12日夜、同市入りした。13日はドイツ・リューネブルク市公園や市ドイツ館などを訪れ、日独友好の歴史を学ぶとともに、市民と友好を深めた。

使節団はエドワード・コレ副市長（66）ら市民18人。ドイツ村公園では地元住民から、すだち茶などの接待を受けた後、ドイツ兵の墓と慰靈碑に

独リュ市使節団、鳴門入り



ドイツ兵の慰靈碑前で、日独友好の歴史の説明を受けるリュ市親善使節団=鳴門市大麻町桧

献花した。50年以上墓の管理をしている高橋敏夫さん（76）文子さん（70）夫妻とも面談し、捕虜と地元住民の交流について話を聞いた。

市ドイツ館では鳴門市美術協会とリュ市の美術サークル「パレッテ会」の交流20周年を記念したセレモニーがあった。館外では地元住民らが鳴門わかめなど市の特産品を煮込んだ「うずしお鍋」を振る舞うなどして交流した。

初めて訪れたホルスト・マイヤー・ヴァックスムートさん（70）は「温かいもてなしを受け国境を超えた友情が今も続いていることに感銘を受けた」と話した。

一行は14日に日独友好協会の会員宅で市民生活を体験。15日に鳴門市を出発し和歌山、京都など5府県を巡って24日に帰

国する。（森麻実）